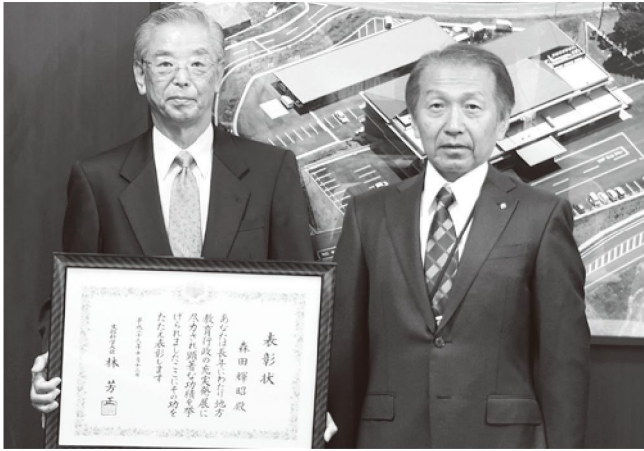


10/18 教育環境整備に尽力 森田輝昭前教育委員長(新所)



表彰状を手にする森田前教育委員長(左)と吉良村長

本年度の地方教育行政功労者表彰が10月13日、文部科学省(東京都)で行われ、森田輝昭前教育委員長が表彰され、吉良村長への報告に訪れました。

森田前教育委員長は、平成17年3月に村教育委員に就任。村民の教育・文化・スポーツの振興発展をはじめ、全ての校舎の耐震化工事、南阿蘇西小学校および南阿蘇中学校の統合など教育環境整備にも大きく寄与されたことなどの功績が高く評価されての表彰となりました。

10/28 子どもたちの目線で情報発信 くまモン夢学校



くまモン記者団に任命された子どもたち

子どもたちが震災を乗り越え夢や希望と出会う機会を提供するプロジェクト「くまモン夢学校」(一般社団法人FOR KUMAMOTO PROJECT主催)が、役場大会議室で行われました。

当日は、村内小学校の4年生から6年生までの29人が参加。村の情報発信活動を想定した「くまモン記者団」として、記者団長のくまモンから一人一人に任命証が手渡されました。

ワークショップではジャーナリストの堀潤氏が講師に招かれ、各自スマートフォンを活用しながら、午前中は座学、午後からはフィールドワークで情報発信の心構えや技術を学びました。

任命された子どもたちは、村の現状などを地元紙やインターネットなどを通じて発信していきます。

掲載者の希望により Web版では未掲載

10/24 明るく豊かな南阿蘇村に 戦没者追悼式



献花を行う参列者

平成29年度の「戦没者追悼式」が、ホテルグリーンピア南阿蘇で行われ、戦没者の遺族や関係者約140人が参列しました。

式典では、吉良村長をはじめ、参列者一人一人が献花台に花を手向けました。

遺族代表謝辞では、村遺族会会長の古澤育男さん(沢津野)が「今日の平和が多くの御英霊の尊い礎のもとで成り立っていることを忘れず、更に明るく豊かな郷土南阿蘇を築き上げるため、戦没者遺族の一員としてより一層の努力を重ねるとともに、戦争の悲惨な教訓を、後世に伝えていきたい」と述べられました。

10/28 小中学生会員も神楽に参加 長野阿蘇神社秋季大祭

長野阿蘇神社秋季大祭が、神楽の里公園「神楽殿」で開催され、神楽の奉納が行われました。

祭りでは、長野神楽保存会（飛瀬孝治会長）により、全三十三座のうち十座の神楽が奉納され、同保存会に加入する村内の小中学生も「礼始」など4つの演目を披露しました。

この日は、あいにくの雨天により、野外で行う演目と子ども相撲は中止されましたが、神様と観客が触れ合う場面の「第十九座 柴引荒神」では、参加者との柴（榊）を引き合う舞などで、会場は多くの来場者で埋め尽くされ、夜遅くまで大盛會を見せていました。



大御神の神衣織場をお側に仕える神々が織の様子を見守る第七座「旗献上」



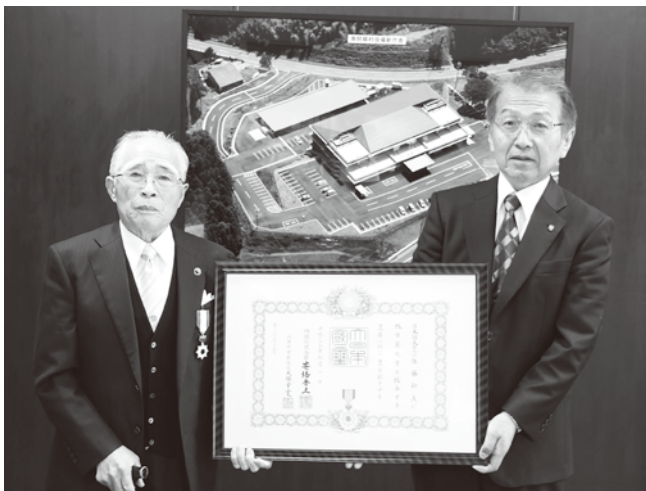
神々が地上の荒ぶる悪しき神達を切りその荒廃を静め平定する様子を表した舞 第四座「剣舞」



やまたの大蛇の悪を剣で切り開く柴（榊）を神様と観客が引き合う 第十九座「柴引荒神」の様子を現した舞 第十七座「綱切」



11/7 旧村の発展に尽力 後藤 松夫さん（中松一）



受章された後藤松夫さん（左）と吉良村長

高齢者叙勲伝達式が役場村長室で行われ、後藤松夫さん（中松一）が旭日単光章を受章されました。

後藤さんは、昭和50年から62年まで3期12年にわたり旧白水村議会議員として在職。建設常任委員や監査常任委員の要職を歴任され、旧白水村の発展と民生の安定に貢献し、村行政の基盤を固め、地方自治の伸展向上に努力された功績が認められての受章となりました。

11/3 アウトドアを通じて思い出の場所に 第3回南阿蘇村・紅葉トレッキング山コン



会話を弾ませながらトレッキングスタート

登山や自然体験を通じて深まる秋の景色と素敵な出会いを探してもらう「第3回南阿蘇村・紅葉トレッキング山コン」が開催されました。

イベントには、男性37人、女性40人が参加。トレッキングのスタート前には、昨年カップルとなった山本恭平さん、理絵子さん夫妻（熊本市）が結婚の報告に訪れました。

参加者は、「俱利伽羅谷」のコースをトレッキングし、山中では、スラックライン（張り渡した帯の上を綱渡りのように歩いたりするスポーツ）や、薪割りなどのアウトドアを楽しみました。

下山後は、抽選会や成立カップル発表があり、19組が誕生しました。